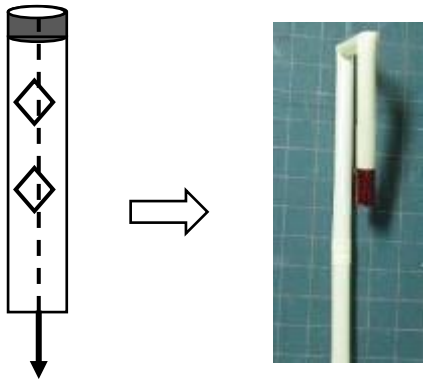


手の関節模型をつくろう

青森・野呂茂樹

切り込みを入れたストローの先に糸を固定し、ストローに糸を通し、その端を引っ張ると切り込みが関節となってストローが曲がり、ゆるめると伸びるしかけを利用しました。

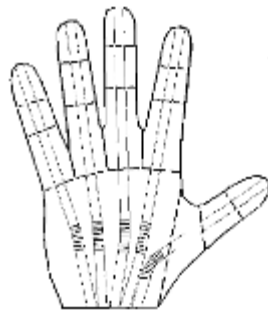
【しかけの原理】



【つくりなど】

(その1)

- ① 型紙に合わせてファイルシートから手形を切り取ります。(「手形」は文末の参考HPから入手)

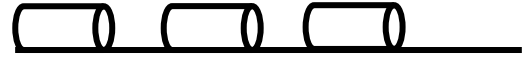


- ② 骨の位置に 5mm 幅の両面テープを張り付けます。



- ③ 切ったストロー(6mmφ)を、関節部分で隙間をあけて張り付けます。

(a)垂直にカット



(b)斜めにカット



- ④ ストローに糸を通し一端をセロファンテープで指先に固定します。
- ⑤ *糸をストロー端に固定するときは、ストローの先端に3mmほど縦に切れ目を入れそれに(先を玉にした)糸を挟みテープを巻くとしっかり固定できます。



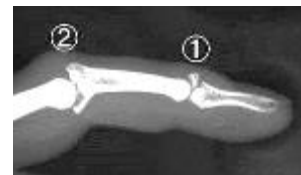
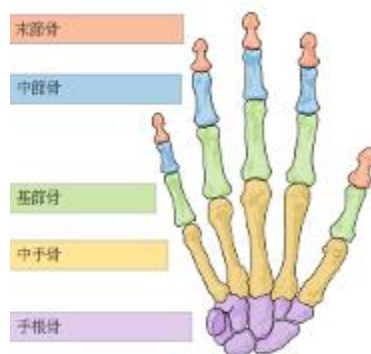
(a)垂直にカットした作例



(b)斜めにカットした作例



⑥ 外に出た糸を（輪にし／束ね）引くと。指が曲がります。



【参考HP／文献】

・「THE ROBOT WORKING MODEL HAND」
<http://www.sciencetoymaker.org/robothand/index.html>